

子どもを健やかに育てるための望ましい家庭のあり方

小学生低学年の時期は…

- 何にでも興味を示し学習にも積極的に取り組もうとします。
- 学習内容も学習方法も1人で決めることは困難です。
- 「勉強しなさい。」と言って子どもに任せているだけでは、なかなか集中力が持続せず効果的な学習ができません。



生活リズムを大切にさせる。

早寝・早起き・朝ごはん

間違っただけをしたときは本気で叱る。

正しいしつけは子どもへの大切な贈り物

がまんする力・耐える力を身につけさせる。

親の笑顔が、子どもの笑顔をつくる。



食事等を利用して会話や接する時間を増やし、家族の絆を深める。

子どもの夢や希望にしっかり耳を傾け、励ます。

手伝い等で責任感や自立心を育てる。

子どもの話をよく聴いて、子どもの心のサインに気づく。

“いのち”の尊さや大切さについて一緒に考える。

「本人のよさやよい行ない」、努力した過程をほめたり、認めたりする。

◎ 子どもさんのことで気になることがあったら、是非ご相談下さい。

子どもさんの成長過程には、学力や体力についてだけでなく、心の発達や悩みなどいろいろな心配事が伴うのは当たり前のことです。気になることがあったら、まずは、子どもさんに1番身近な担任の先生や校長・教頭先生など学校に連絡し、十分相談することが大切です。その他の窓口には以下のようなものがあります。

○ 学力や生活面については

日田市教育センター相談係 ☎22-1000 学校教育課指導係 ☎22-8221

○ 心の悩み(いじめ・不登校も含む)については

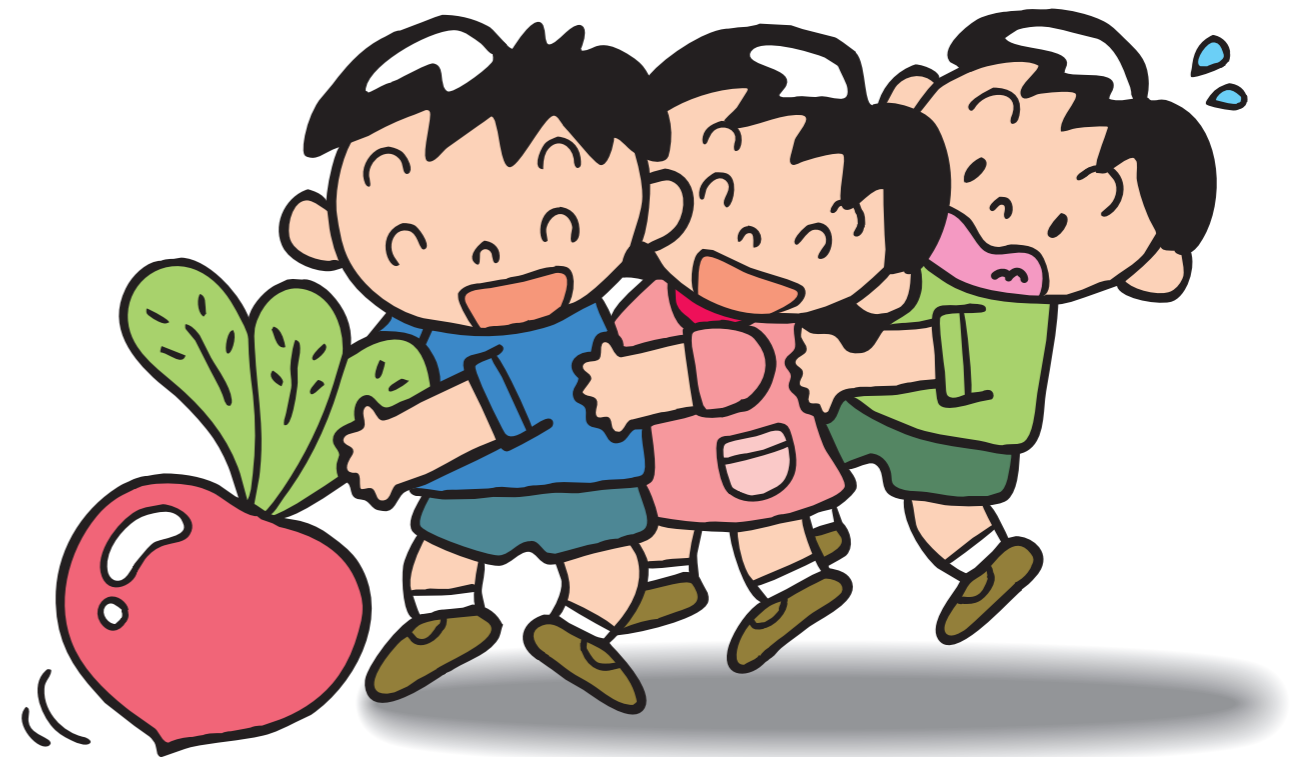
日田市教育センター相談係 ☎22-1000

○ 発育・発達・子育て支援については

日田市役所こども未来室 ☎22-8317 及び 西部保健所 ☎23-3133
日田市役所地域保健課健康支援係 ☎24-3000

小学生 1・2年用

家庭学習のてびき



～ 一人ひとりの子どもが活かされる日田市の教育を目指して ～

するどにぶすきりつちつか
鋭きも鈍きもともに捨てがたし、錐と槌とに使いわけなば

広瀬淡窓先生 「淡窓いろは歌」より

いえでのすごしかたについて、おうちのひととはなしあってみましょう。
～身につけたい基本的な生活習慣づくり～

	おうちでととのえたい せいかつのしゅうかん	1学期	2学期	3学期
1	はやね、はやおきができています。			
2	朝ごはんをしっかりと食べています。			
3	べんきょうじかんやテレビやゲームなどのじかんとをまもれています。			
4	あとかたづけや せいりせいとんがきちんとできています。			
5	ねるまえに、あしたのじゅんびをしています。			
6	なにか1つきめて、まいにちおてつだいをしています。			

〈評価〉 ◎=自分からできる ○=言われてできる 空らん=できない

おうちのひととはなしあって、もくひょうをきめましょう。～家庭学習の目標づくり～

1がつき	
2がつき	
3がつき	

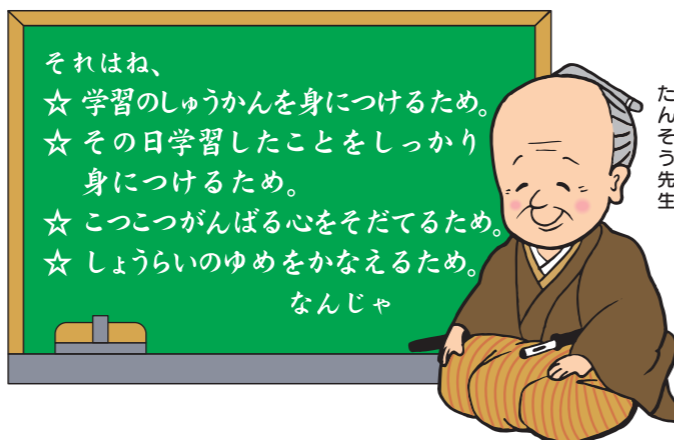


べんきょうをはじめるじこく や どれくらいするかをきめてみましょう。

ようび	月ようび	火ようび	水ようび	木ようび	金ようび	土ようび	日ようび
はじまり	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分	時 分

低学年のめやす	じぶんのべんきょうのじかん
20～40分	分

なんで、「かていがくしゅう」をするのかなあ？



しゅくだいがおわったら、じぶんでやってみましょう。～家庭学習の内容づくり～

よんでみよう!

- きょうかしよのなつたところを こえにだして 3かい よみます。
- 「 」やてん(,)まる(。)にきをつけて よみます。

かいてみよう!

- ひらがな や カタカナ のことばをあつめて ノートにかいてみます。
- きょうかしよの ぶんを ただしくうつしてみます。
- にっきを かいてみます。
- ・いつ・どこで・だれと・どんなことをしたかを かきます。
- ・どんなことを おもったかも かきます。

おぼえてみよう!

- ① かん字の よみかたやかきじゅんを ノートにかいておぼえます。
- ② ひらがなで かいているところを見て、かん字にしてノートにかきます。
- ③ まちがえていたかん字は、ノートに 3かい かいて、おぼえなおします。



じゅぎょうでなつたもんだいを やりなおしてみよう。

- ① がっこうの じゅぎょうでやつた きょうかしよのもんだいを、べつのノートに もういちど やってみます。
- ② さんすうの ノートを見て、まるつけを します。
- ③ まちがえたもんだいは、もういちど やりなおしをします。

けいさんのれんしゅうをしよう。

[ドリルを つかって]

- ① ページ や もんだいの ばんごうを かき、もんだいをノートに かきうつします。
- ② もんだいをといて、こたえを かきます。(とちゅうの しきも かならず かきます。)
- ③ こたえを見て、できているか まるつけをします。
- ④ まちがえていたもんだいは、おうちのひとにきいてやりなおしをします。

